



NEWSLETTER No. 76
ISSN 1340-5578

TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
The Society for Research in Asiatic Music

May 25, 2009



社団法人
東洋音楽学会

会 報

第 **76** 号

発行 (社) 東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: <http://www.soc.nii.ac.jp/tog/>

目 次

第60回 大会のご案内	1	ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ	4
第60回 大会の研究発表募集	2	藝術学関連学会連合 第4回シンポジウムのお知らせ	5
第26回 田邊尚雄賞受賞者発表	2	第1回 漢・唐音楽史国際シンポジウムのお知らせ	6
第27回 田邊尚雄賞アンケートのお願い	2	東日本支部からのお知らせ	6
第79回 通常理事会議決事項のお知らせ	2	会員異動	6
会員の受賞	3	図書・資料等の受贈	8
会費納入のお願い	3	新刊書籍	8
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	3	新発売視聴覚資料	9
機関誌既刊号の電子化について	3	編集後記	9

第60回 大会のご案内

(社) 東洋音楽学会は、平成21年度の研究発表大会および公開講演会を以下の通り開催します。どうぞふるってご参加ください。

1. 日時 2009年10月17日(土)～18日(日)
2. 会場 沖縄県立芸術大学・第1キャンパス
(〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4)

交通: ゆいレール首里駅下車 徒歩10分

バス利用: 当蔵バス停下車 徒歩1分

那覇バス(1) 首里牧志線, (46) 糸満西原(鳥堀)線

沖縄バス(8) 首里城下町線

3. 日程

[第1日] 10月17日(土)

10:00 通常理事会

13:00 受付

14:00 公開講演会

テーマ「人の移動と音楽(仮題)」

16:00 田邊賞授賞式

16:30 通常総会

18:00 懇親会(沖縄県立芸術大学・学生食堂)

[第2日] 10月18日(日)

09:00 受付

09:30 研究発表(1)

13:00 研究発表(2) またはラウンドテーブル

15:00 閉会

15:30 首里城周辺見学

4. 会費

大会参加費

正会員 4000円 *期限内納入者は 3000円

学生会員 3000円 *期限内納入者は 2000円

☆非会員 17日 公開講演会参加費(資料代) 1000円

※大会参加費納入期限は10月7日(水)の予定

懇親会費 5000円(学生会員 2500円)

大会実行委員会: 久万田晋(委員長)、飯田くるみ、

梅田英春、遠藤美奈、大塚拜子、尾高暁子、金城厚、

高瀬澄子、竹内有一、比嘉悦子

第60回 大会の研究発表募集

第60回大会における研究発表を、下記の要領で募集します。
多彩な内容の発表を期待いたします。

1. 発表時間

- A) 研究発表 口頭発表 20分+質疑応答 10分
- B) ラウンドテーブル 90分

2. 申込み方法

題目、要旨 (1200字程度)、氏名 (ラウンドテーブルの場合は、代表者名とパネリスト名)、連絡先 (住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス等)、使用希望機材、その他の必要事項を明記の上、書面 (郵送または電子メールによる送信) で、大会実行委員会までお申し込みください。

3. 申込み締切: 2009年7月17日 (金) 必着

4. 申込み宛先:

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4
沖縄県立芸術大学附属研究所 久万田研究室気付
(社)東洋音楽学会 第60回大会実行委員会
E-mail: togtaikai2009@gmail.com

第26回 田邊尚雄賞受賞者発表

第26回田邊尚雄賞は、以下のように決定いたしました。

〈受賞者・受賞対象〉

田中多佳子

『ヒンドゥー教徒の集団歌謡—神と人との連鎖構造』

(世界思想社、2008年2月発行)

〈選考経過〉

今回推薦された業績5件について、3月21日(土)、国立劇場芸能情報館にて開かれた第26回田邊尚雄賞選考委員会で慎重に審議し、上記1件が選ばれました。

授賞式は本学会第60回大会で行われる予定です。
理事会で承認された受賞理由は以下の通りです。

〈受賞理由〉

本書は、ヒンドゥー教の集団歌謡「サマージュ・ガーヤン」に関するきわめて広範かつ詳細なすぐれた音楽民族誌である。内外の諸文献に依拠しつつ緻密なフィールド調査に基づいて、独自の音楽分析を試みたのみならず、この儀礼を基礎づける宗教思想・社会史・宇宙論・時間論などを子細に検討することによって、「サマージュ・ガーヤン」を社会的文化的コンテクストのなかで統合的に理解することを可能にした。

第27回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

◇アンケートのお願い

第27回田邊尚雄賞は、下記の要領で選考・授与されます。
その選考対象となる会員の業績について、皆様からの情報を募集いたします。会員各位のご協力をお願いいたします。

- 対象期間 2009 (平成 21) 年 1 月 1 日～12 月 31 日。
- アンケート締切: 2010 (平成 22) 年 2 月 18 日 (木) 必着。

対象期間中も随時受け付けます。

- アンケート記入事項: 著者名、著書名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数を記入してください。
- アンケート送り先:

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号
(社)東洋音楽学会第27回田邊尚雄賞選考委員会

第79回 通常理事会議決事項のお知らせ

2009年4月5日(日)に東京芸術大学大会議室において第79回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会 (2008年11月16日) 以降、4月5日までに申し込みのあった正会員に仮承認された正会員6名、学生会員8名の入会が正式に承認されました。

2) 平成21年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 第26回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

4) 第27回田邊尚雄賞選考委員について

高桑いづみ、龍村あや子 (以上留任)、大谷紀美子、ステイプン・ネルソン、茂手木潔子 (以上新任) の5氏に委嘱することが承認されました。

5) 各種委員について

情報委員に、上野正章、竹内有一の2氏を新たに委嘱すること、芸術学関連学会連合派遣委員を、遠藤徹氏に代わって金城厚氏に委嘱することが承認されました。

6) 諸規程について

国内出張旅費規程が定められました。今後学会運営に関わる旅費は、この規程にしたがうことになります。

◇名簿作成にご協力ください

メールでの連絡も受け付けます。

本年は学会名簿作成の年にあたります。新しい名簿は、本年 8 月末発行予定の機関誌に同封されます。同封のハガキに必要事項を記入の上、6月20日までに投函してください。なお、メールでの連絡も受け付けます。その場合は、学会ホームページ（<http://www.soc.nii.ac.jp/tog/>）から様式をダウンロードして、学会事務所（LEN03210@nifty.com）へ、6月22日までに送信してください。いずれの場合も締め切り厳守、なるべく早めに情報をお寄せください。会員の皆様のご協力をお願いします。なお、会員名簿は会員相互の円滑な連絡のために作成するものです。作成にあたっては、情報管理に細心の注意を払っています。会員の皆様には、名簿内容の管理に充分ご留意ください。

会員の受賞

◇竹内有一氏が第 22 回財団法人清栄会奨励賞を受賞

本学会員の竹内有一氏が第 22 回財団法人清栄会奨励賞（研究者部門）を受賞されました。『詞章本の世界』（日本伝統音楽研究センター研究報告 2）の編集と執筆をはじめ、近世の日本音楽とくに豊後系浄瑠璃を中心に、書誌的研究および実地調査をおこない、その音楽的特質や詞章本の出版状況を明らかにした成果が評価されたものです。授賞式は、3 月 11 日、国立劇場会議室において行われました。

◇蒲生郷昭氏が平成 20 年度小泉文夫音楽賞を受賞

本学会の元会長、蒲生郷昭氏が、平成 20 年度小泉文夫音楽賞を受賞されました。民族音楽学者として著名な小泉文夫氏を記念して創設された音楽賞で、「日本音楽のあらゆるジャンルに対する長年の調査・研究、とりわけ、文献・図像・現行伝承の徹底した考証を通じて総合的な日本音楽の方法を構築し、この分野を主導してきた功績」が認められての受賞です。アフリカ音楽の研究者シムハ・アロム氏も同時に受賞されました。授賞式とパーティは 5 月 29 日に行われる予定です。

会費納入のお願い

2007 年度（2007 年 9 月 1 日～2008 年 8 月 31 日）までの会費を未納の方に、請求書と振替用紙を別便でお送りしました。請求書の未納金額をお確かめのうえ、早速お払い込みください。なお、本誌と行き違いに納入された場合は、どうぞご容赦ください。

◇大学院生の会費割引制度をご利用ください

会費の「減額措置」を受けるためには、申し込み用紙（「大学院生会費減額措置願い」）と学生証のコピーを 7 月 31 日までに学会事務所に提出してください。年度をさかのぼっての申請はできません。申し込み用紙は学会の HP からダウンロードするか、学会事務所にご請求下さい。なお、次年度も減額措置を希望する方は、年度ごとに改めて「減額措置願い」を提出する必要があります。

◇卒論・修論発表を機に入会された皆様へお願い

本学会では、卒論・修論発表は、入会を申込み、年会費を支払った会員の権利と見なされます。つまり、発表を行った時点でその年度の会員として登録されていますので、退会届を提出しない限り、継続的に年会費を支払う義務が生じます。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第 75 号（2010 年 8 月刊行予定）の原稿を募集します。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規定」および学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください（学会ホームページをご覧になれない場合、機関誌編集委員会にご請求ください）。

原稿の送付先：

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

藤田研究室気付 東洋音楽学会機関誌編集委員会

（「機関誌投稿在中」と明記） Tel. /Fax. 075-334-2392

送付方法：プリントアウトした原稿を送付すること。ただし、書留郵便にはしないこと。（直接持参、または、メール添付では受け付けない。）

締め切り：2009年12月21日（月）必着

（機関誌編集委員会）

機関誌既刊号の電子化について

このたび、独立行政法人科学技術振興機構（以下 J S T）の電子アーカイブ対象選定委員会によって、本学会の機関誌『東洋音楽研究』が、創刊号以降の既刊号を電子化してアーカイブ化の対象学術誌として選定されました。この電子化は日本の国策として J S T が行なっている事業の一環

で、海外の学術ジャーナルの電子化の流れに対応するかたちで、国が全額負担で、選定の対象となった学術誌について電子化の作業を行ない、電子アーカイブとしてインターネット上で公開する、という事業です。

本学会では、すでに申請の手続きをしておりましたが、昨年末に対象誌として選定されたことを受けて、正式に電子アーカイブ化に関する手続きに入りました。学会としては、去る 3 月の常任委員会および 4 月の理事会および拡大常任委員会の場で、理事の承認を得ましたので、JST と本学会との間で覚書を締結し、電子化の作業を進めることとなりました。なお、電子化されるのは創刊号以降全号の論文、研究ノート、書評など、学術的記事ですが、公開は最新の 4 号を除くことと致します。

この電子化に際しまして、それぞれの記事の著作権処理が必要となります。つきましては、各記事の執筆者の皆様が著作権を本学会に委譲していただきたく、下記の「告知とお願い」を掲載させていただきます。会員の皆様にはこの「告知とお願い」にお目通しいただきまして、ご了承いただきたく、お願い申し上げます。

なお、創刊以来 70 年を越えておりますので、著者のなかには物故者などすでに学会に籍をお持ちでない方々がおられますが、そうした方々につきましては、可能な限り個別に本学会で対応させていただきます。

(総務・機関誌担当理事 永原恵三)

『東洋音楽研究』全号 (最新号を除く) の電子アーカイブ化に伴う著作権委譲に関する告知とお願い

会員ならびに著者各位

東洋音楽学会 (以下本学会) は、昭和 11 年 (1936 年) に創刊以来、学会誌『東洋音楽研究』 (以下本誌) を刊行してまいりました。73 年の長きにわたり本誌を刊行できたことは、ひとえに会員各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

このたび、本学会は独立行政法人科学技術振興機構の電子アーカイブ対象選定委員会によって、本学会の本誌が創刊号以降の全号を電子化してアーカイブされる対象誌として選定されました。

この電子アーカイブとは、誌面を電子データ化し、同機構インターネットウェブサイト上で公開することをいいます。これにあたっては、電子化された論文はすべてが同機構のサーバに保存されるため、著作権が本学会に帰属していることが条件となります。

本誌の電子アーカイブ化にあたっては、著作権法により、掲載された論文などの著者からその著作権 (複製権、公衆送信権を含む) の許諾または譲渡を必要とします。

本誌の投稿規定には論文などの著作権が本学会に帰属することが定められておりませんので、著作権の委譲が明確にされていない状態となっております。

これらの事情から、本電子アーカイブ化を進めるにあたり、創刊号以来の著作についても、著作権は本学会に帰属していただくことと致したく、本来であれば、会員ならびに著者の皆様お一人おひとりに「著作権の許諾手続き」を行なうべきではございますが、当該公告をもって著作権の譲渡をお願い申し上げる次第です。

なお、万が一、この件に関しましてご了承いただけない場合、あるいはご不審の点がおありの場合は、2009 年 7 月 31 日までに本会事務局に文書または電子メールでお申し出下さい。本会は、このお知らせが著者の皆様の目に触れることを前提としておりますが、何らかの事情でこの件をお知りになる機会がなかった場合には、期限を過ぎましても、改めて個別にご相談させていただく所存です。なお、お申し出のない場合には、ご了承いただいたものとし、電子アーカイブとして公開する時期がまいりました段階で、論文を掲載させていただきたいと存じますが、公開後の会員ならびに著者の皆様からの記事取り下げ要求に際しても、柔軟に対応させていただきます。

東洋音楽学会事務局

総務・機関誌担当理事 永原恵三

ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

1. 第 40 回 ICTM 世界大会開催について

平成 21 年 7 月 1 日から 8 日まで南アフリカのダーバンで第 40 回 ICTM 世界大会が開催されます。会場は the University of KwaZulu-Natal で、以下の大会テーマが設定されています。

- Postcolonialism(s) and the Future for Our Disciplines
- Reapproaching the “Popular” and the Traditional” in the Contemporary World
- Festivals, Contests and Competitions
- Emotion, Spirituality and Experience
- Masculinities in Music and Dance
- New Research

発表申し込みはすでに締め切られましたが、参加申し込みは受け付け中です。学会ウェブサイトから申込書をダウンロードし (<http://ictm2009.ukzn.ac.za/RegistrationForm17642.aspx>)、郵送かメールの添付にてお申込みください。プログラム委員長は、シェフィールド大学(イギリス)の Jonathan Stock (j.p.j.stock@sheffield.ac.uk) 氏です。その他詳細は、大会ウェブサイト (<http://ictm2009.ukzn.ac.za/HomePage10794.aspx>) をご覧いただくか、ICTM 担当委員(早稲田みな子 minako_waseda@msn.com) までお問い合わせください。

2. ICTM 東アジア音楽研究会 (MEA) 第 2 回研究会開催について

MEA (ICTM Study Group for Musics of East Asia) は、第 2 回研究会を平成 22 年 8 月 25 日(水)～26 日(木)に韓国のソウルで開催します。会場は the Academy of Korean Studies、プログラム委員長は Chinese University of Hong Kong の Tsai Tsanhuang (ttsai@cuhk.edu.hk) 氏です。プログラム委員会には執筆者のほか、寺内直子氏が日本会員として加わっています。第 2 回研究会の詳細は、今後 MEA のウェブサイト (<http://www.gim.ntu.edu.tw/mea/Index.html>) およびメーリングリストにてお知らせしていく予定です。また、今年 7 月に開催される ICTM 世界大会(上記参照)において、MEA のビジネス・ミーティングを行います。詳細が決まり次第、上記ウェブサイトおよびメーリングリストにてお知らせします。興味がおありの方は是非ご参加ください。MEA についてのご質問は、ICTM 担当委員(早稲田みな子 minako_waseda@msn.com) に直接問い合わせいただいても結構です。

(ICTM 担当委員 早稲田みな子)

3. ICTM 楽器研究会 ドイツ大会報告

楽器研究会 (ICTM Study Group for Folk Musical Instruments) は 1962 年に発足以来、ICTM のスタディーグループの中で最も古くから活動が続けている研究会です。第 17 回研究会は 2009 年 4 月 1 日から 4 日までベルリン近郊の町エルクナーで開かれ、ドイツ、アメリカ合衆国、日本を始め、バルカン諸国、南米など 17 ヶ国から約 40 人の研究者が参加しました。

今回の大会のテーマは 1) Percussion、2) Migration of musical instruments、3) Current scientific research に設定され、各分科会ではヨーロッパの地域的な研究のみならず、地域横断的視野に立った比較研究が多く発表されました。また、従来の研究会ではヨーロッパを中心とした

地域の楽器がテーマの主流でしたが、この大会でアジア、南米、アフリカを含む広地域の楽器研究が発表されたことは、非常に意義深かったと思います。

研究会の 2 日目にはエクスカーションとしてベルリン市内のペルガモン博物館見学、また最終日の分科会をベルリン音楽資料館のあるベルリン民族学博物館で行うなど、学術以外の部分でも充実した大会でした。発表された研究は Studia Instrumentorum Musicae Popularis シリーズとして出版される予定です。

次回大会は 2011 年に開催する予定です(日程・開催国未定)。

楽器研究会に関するご質問は、当研究会の副チェア、藤田りん子(rinko.fujita@gmail.com) までご連絡ください。

(ICTM 楽器研究会 副チェア 藤田りん子)

藝術学関連学会連合 第 4 回シンポジウムのお知らせ

藝術学関連学会連合では、下記の日程で第 4 回のシンポジウムを企画しています。皆様のご参加をお待ちしています。

テーマ：『藝術とインタラクティビティ』

日時：2009 年 6 月 13 日(土) 午後 1 時 30 分～5 時

会場：京都国立近代美術館 1 階講堂

地下鉄東西線「東山」より徒歩 5 分、市バス「東山仁王門」より徒歩 5 分

【プログラム】

〈開会の辞〉 佐々木健一氏(藝術学関連学会連合会長)

〈趣旨説明、司会(シンポジウムオーガナイザー)〉

為ヶ谷秀一氏(日本映像学会)、兼子正勝氏(日本映像学会)〈講演〉

原島博氏(元東京大学教授、女子美術大学客員教授)

「情報技術は文化を目指す」

〈パネルディスカッション〉

山口良臣氏(意匠学会)「装置あるいは仕掛けとしての芸術作品」

貫成人氏(舞踊学会)「舞踊とインタラクティビティ」

仲町啓子氏(美術史学会)「絵画の制作と受容- 近代以前の源氏物語絵を中心に -」

吉岡洋氏(美学会)「インタラクシオンと時間」

〈閉会の辞〉 岩城見一氏(京都国立近代美術館館長)

詳しくは、藝術学関連学会連合のホームページをご参照下さい。<http://wwwsoc.nii.ac.jp/geiren/index.html>

(藝術学関連学会連合委員 遠藤 徹)

第 1 回 漢・唐音楽史国際シンポジウムのお知らせ

第 1 回漢・唐音楽史国際シンポジウムが、2009 年 10 月 14 日～17 日 (14 日受付) 西安において、西安音楽大学、中国藝術研究院音楽研究所、および中国音楽史学会連合の主催で開催されます。シンポジウムのテーマは、漢・唐代の音楽文化とその周辺地域の音楽文化との関係およびその影響であり、漢・唐音楽史における①シルクロードの音楽との交流、②中国と日本・韓国との文化交流、③音楽図像学に関する研究、④その他の研究、を扱います。シンポジウムにはテーマに関連する専門家、学者を招待し、開催後に学術論文集を出版するとともに、漢・唐文化遺跡の現地考察および近郊の古い民間音楽の鑑賞を予定しています。シンポジウムは中国語・英語で行われます。

このシンポジウムへの参加を希望する方は、5 月末日までに論文要約 (中国語 300 字以内、または相当分の英語) を、8 月 30 日までに論文本文 (中国語 20,000 字以内、または相当分の英語) を下記あてにお送りください。内容審議の上、シンポジウムの準備委員会より正式の招待状をお送りします。なお、国外から参加される正式招待者の渡航費は本人負担とし、シンポジウム期間中の宿泊と食事は主催者が負担します。

〈連絡先〉

呉 思雨: (電話) +86-29-85262296、+86-13759889299

(Eメール) 4622937@qq.com

徐 龍: (電話) +86-29-82142882、+86-13689294668

(Eメール) ooopzlong@126.com

会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2008 年 12 月～2009 年 4 月、訂正箇所は下線部)

東日本支部からのお知らせ

東日本支部では、これまで 5 月 20 日に発行していた『東日本支部だより』を 6 月 20 日発行に変更します。

また、6 月・7 月例会につづき、次年度は 9 月例会 (9 月 5 日) の開催を予定しています。詳細は追って HP、支部だより等でご案内します。

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。（機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail 等でも結構です）

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。（複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等）

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2008 年 12 月～2009 年 4 月、到着順)

『国際研究集会・60 年代演劇再考』パンフレット

『News Letter』No. 3, 4

早稲田大学演劇博物館グローバル COE プログラム

『楽道』12, 1, 2, 3, 4 月号

正派邦楽会

『東方學會報』No. 95

(財) 東方学会

『樂學軌範訓讀』成俔 撰、和田一久 疏

箏曲京極流 上北野樂堂

『ぎふ民俗音楽』第 78, 79 号 岐阜県民俗音楽学会

『「拡散する音楽文化をどうとらえるか」双書 音楽文化の現在 1』

東谷護編著 勁草書房

『「グローバリゼーションと音楽文化—日本のラップ・ミュージック」双書 音楽文化の現在 2』

木本玲一著 勁草書房

『日本の伝統芸能講座 舞踊・演劇』

服部幸雄監修 国立劇場企画・編集 淡交社

『演劇博物館グローバル COE 紀要「演劇映像学 2007

報告集 1, 2』

『演劇博物館グローバル COE 紀要「演劇映像学 2008

第 1, 2, 3, 4 集』

『「鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査

研究」北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究

報告書 5』

『研究紀要』第 15 号

北海道立アイヌ民族文化研究センター

『研究紀要』XXIX

エリザベト音楽大学

『演劇映像』第 50 号

早稲田大学演劇映像学会

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『阿久悠神話解体: 歌謡曲の日本語』

見崎鉄、彩流社、2, 310 円

『一冊でわかる日本の古典芸能』

中村雅之、淡交社、1, 995 円

『一冊でわかる能ガイド』

丸岡圭一、成美堂出版、1, 365 円

『歌垣: 恋歌の奇祭をたずねて』

辰巳正明、新典社、1, 050 円

『歌に潜む仏教のころ』

長田暁二、国書刊行会、3, 570 円

『沖縄チューン: 魂に響くウチナー音楽読本』

天空企画、扶桑社、1, 890 円

『梅原猛聖徳太子の夢: スーパー歌舞伎・狂言の世界』

保井温、ミネルヴァ書房、2, 520 円

『男役の方行』

天野道映、青弓社、1, 680 円

『音楽とはなにか』

徳丸吉彦、岩波書店、5, 460 円

『歌舞伎の見方』

渡辺保、角川学芸出版、1, 575 円

『歌舞伎ゆめがたり』

水原紫苑、講談社、1, 470 円

『キーワード 150 音楽通論』久保田慶一、上野大輔、川本

聡胤、木下大輔、本多佐保美、白石美雪、神部智、

アルテスパブリッシング、2, 310 円

『宮中雅楽 DVD 付』

林陽一、小学館、17, 850 円

『狂言の大研究』

PHP 研究所、2, 940 円

『ギリシア劇と能の再生: 声と身体 of 諸相』

佐藤亨、中条忍、水声社、4, 200 円

『近代歌舞伎年表 (名古屋篇 第 3 卷)』

国立劇場調査養成部調査、八木書店、18, 900 円

『近代国家と能楽堂』奥富利幸、大学教育出版、7, 350 円

『グローバリゼーションと音楽文化: 日本のラップ・ミュージック』

木本玲一、勁草書房、2, 520 円

『現代音楽と現代美術にいたる歴史: 動物学と脳科学から見た芸術論』

北原惇、花伝社、2, 100 円

『口頭伝承と文字文化: 文字の民俗学 声の歴史学』

笹原亮二、国立民族学博物館、思文閣出版、7, 350 円

『古代の歌: アジアの歌文化と日本古代文学 DVD 付』

遠藤耕太郎、瑞木書房、16, 700 円

『ことばから迫る狂言論』

小林千草、千草子、武蔵野書院、2, 500 円

『在日音楽の 100 年』

宋安鍾、青土社、2, 730 円

『証言! 日本のロック 70's』難波弘之、井上貴子、

アルテスパブリッシング、2, 100 円

『浄瑠璃本史研究: 近松・義太夫から昭和の文楽まで』

神津武男、八木書店、18, 900 円

『詩人と音楽: 記録された唐代の音』

中純子、知泉書館、5, 250 円

『世界を打ち鳴らせ: サムルノリ半生記』

キム・ドクス (清水由希子訳)、岩波書店、2, 940 円

『戦後関西能楽誌』

権藤芳一、和泉書院、3, 675 円

『空飛ぶ五代目菊五郎明治キワモノ歌舞伎』

矢内賢二、白水社、2, 625 円

『宝塚という装置』

青弓社、2, 100 円

『地下鉄のミュージシャン』

スージー J. タネンバウム

(宮入恭平訳)、朝日新聞出版、3, 045 円

『中国とベトナム山地民族の世界: ヤオ族音楽文化に関する基礎的研究』

李金叶、大学教育出版、2, 520 円

『中東欧音楽の回路』

伊東信宏、岩波書店、3, 045 円

『童謡・唱歌・思い出の歌』

西東社、1, 155 円

『日本ジャズの誕生』

瀬川昌久、大谷能生、青土社、2, 310 円

『日本の電子音楽 (増補改訂版)』

川崎弘二、愛育社、4,515円

『日本の伝統芸能講座：舞踊・演劇』

国立劇場、淡交社、3,990円

『日本のヒップホップ』イアン・コンドリー (田中東子、山本敦久訳)、エヌティティ出版、2,940円

『日本のわらべうた：歳事・季節歌編』

尾原昭夫、文元社、4,515円

『能苑逍遙：世阿弥を歩く』

天野文雄、大阪大学出版会、2,205円

『能・狂言の基礎知識 (角川選書)』

石井倫子、角川学芸出版、1,680円

『能の世界』馬場あき子、淡交社、2,100円

『能狂言の文化史』

原田香織、世界思想社、2,415円

『能よ古典よ！』林望、檜書店、1,995円

『能を面白く見せる工夫：小書演出の歴史と諸相』

横道萬里雄、山中玲子、松本雍共、檜書店、2,730円

『増補改訂版 はじめての音楽史：古代ギリシアの音楽から日本の現代音楽まで』片桐功、檜崎洋子、岸啓子、三浦裕子、茂手木潔子、久保田慶一、白石美雪、塚原康子、長野俊樹、吉川文、高橋美都、音楽之友社、2,100円

『花の生涯：梅蘭芳写真集』陳凱歌、角川書店、1,890円

『ひだ・みの地芝居の魅力』

安田文吉、安田徳子、岐阜新聞社、1,200円

『琵琶法師 (異界) を語る人びと DVD付』

兵藤裕己、岩波書店、1,029円

『琵琶伝来の淵源』藤内鶴了、笠間書院、10,500円

『文明戯研究の現在：春柳社百年記念国際シンポジウム論文集』飯塚容、瀬戸宏、平林宣和、松浦恆雄、東方書店、6,300円

『梅蘭芳：世界を虜にした男』

加藤徹、ビジネス社、1,680円

『持ってゆく歌、置いてゆく歌：不良たちの文学と音楽』

大谷能生、エスクァイアマガジンジャパン、2,100円

『山本邦山：人と竹』山本邦山、出版芸術社、2,940円

『箏・三弦 古典/現代名曲集(二十)』

B001XXJDWY、2,940円

『中国の音楽』KICW-5109、2,000円

『二胡名曲』KICW-5110、2,000円

『日本のマーチ』KICW-5123、2,000円

『日本の民謡：青森・岩手編』KICW-5137、2,000円

『日本の民謡：秋田・山形編』KICW-5138、2,000円

『日本の民謡：奄美編』KICW-5144、2,000円

『日本の民謡：関東・甲信越編』KICW-5140、2,000円

『日本の民謡：九州編』KICW-5143、2,000円

『日本の民謡：近畿・中国・四国編』KICW-5142、2,000円

『日本の民謡：東海・北陸編』KICW-5141、2,000円

『日本の民謡：北海道編』KICW-5136、2,000円

『日本の民謡：宮城・福島編』KICW-5139、2,000円

『日本の民謡：宮古・八重山編』KICW-5145、2,000円

『日本の名歌』KICW-5121、2,000円

『無限曠野/銀河街道：柴田南雄後期作品集』

高橋悠治、B001XXJDW0、3,990円

編集後記

第76号をお届けします。今号から5月号は25日発行に変わりました。東日本支部の例会案内が間際になってしまいましたが、ご寛恕ください。田邊賞のアンケートも例年より早まりました。こちらもよろしく願いいたします。沖縄での大会も久しぶりの開催です。皆様どうぞお出かけください。(高桑)

会報編集委員

理事：高桑いづみ、横井雅子

参事：荻野珠、重田絵美、柴田真希、星野厚子、柳澤久美子、山口かおり

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

●DVD

『春節の伝統演芸』コニービデオ、2,625円

『中国舞路劇 DVD BOX 全5巻』コニービデオ、17,325円

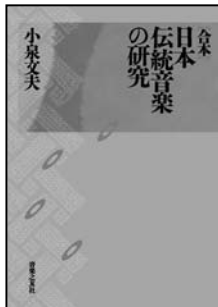
●CD

『シルクロードの音楽』KICW-5111、2,000円

『世界の国歌』KICW-5122、2,000円

『世界のこもりうた』KICW-5118、2,000円

合本 日本伝統音楽の研究



小泉文夫 著

復刊にあたり『日本伝統音楽の研究1〈民謡研究の方法と音階の基本構造〉』と『日本伝統音楽の研究2 リズム』を合本とし、解題を付す。

B5判・548頁
定価10500円
(本体10000円＋税5%)
ISBN978-4-276-13312-9

日本音楽基本用語辞典

音楽之友社 編

雅楽からアイヌ音楽まで、日本音楽の基本的な用語をジャンル別に解説したハンディな辞典。

A5判・192頁
定価1890円
(本体1800円＋税5%)
ISBN978-4-276-00182-4



わたしたちの文化を知ろう、伝えよう

よくわかる日本音楽基礎講座

雅楽から民謡まで

福井昭史 著

B5判・152頁
定価2520円
(本体2400円＋税5%)
ISBN978-4-276-30704-9

ドレミを選んだ日本人

千葉優子 著

四六判・288頁
定価2625円
(本体2500円＋税5%)
ISBN978-4-276-21257-2

ワールドミュージック/世界音楽入門

ボールマン 著 柘植元一 訳

四六判・248頁
定価2730円
(本体2600円＋税5%)
ISBN978-4-276-13532-1

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 音楽之友社 TEL 03-3235-2151 <http://www.ongakunotomo.co.jp>

第52回 毎日出版文化賞(1998年)・第14回 文化庁芸術作品賞受賞作品(1999年)

復刻 萱野茂のアイヌ神話集成

セット価格 定価税込150,000円 (商品番号:VZZAI)
内容…書籍全10巻(A5判約2,000頁)上製本/CD全11枚(約11時間)/VHSレコーダー1巻(約41分)

御注意◎本作は書店・レコード店では取り扱っておりません。CD全11枚(約11時間)/VHSレコーダー1巻(約41分)御購入の際は、弊社ホームページを御覧ください。なお、限定復刻のため完売の際はご容赦ください。

限定200セット

三春採アイヌ(北海道訓路市春採)
二、平取アイヌ(北海道沙流郡平取町二風谷)
三、塘路コタン(北海道)
四、塘路のベカンベ(北海道川上郡標茶町塘路)
五、静内のシャクシャイン祭(北海道静内町静内)
六、岩別アイヌ(北海道岩別市)
七、樺太アイヌ(北海道網走市)
八、樺太アイヌの熊祭(北海道網走市)
九、オロツコ・ギリヤーク(北海道網走市)
CD・VZCG-8365(73枚組)
税込定価9,000円(税抜価格8,571円)



〈附属解説書〉全96ページ
凡例、解説/本田安次(復刻掲載)
本田安次氏による解説文について/北原次郎太
ニグツ民族の呼称の変遷/丹菊逸治
ウイリタの呼称について/世倉いづる
詞章の改訂にあたって/北原次郎太
詞章(全面改訂版)/北原次郎太
CD 3 [25]ニグツの音源について/丹菊逸治
アイヌ語・音楽・文学についての参考資料/北原次郎太

アイヌ・北方民族の芸能

北の大自然のなかで神々と共生し、独自の文化を築き上げた、アイヌ・北方民族の貴重な民族文化資料。昭和28年から51年にかけて録音された歴史的音源、待望の完全復刻初CD化。



幻の琉球王府宮廷楽
御座楽
監修・解説 比嘉悦子/演奏・御座楽復元演奏研究会
CD・VZCG-681
税込定価3,000円(税抜価格2,857円)
全58ページ 歌詞・解説付
(英文解説付 English liner notes enclosed)

御座楽(うざがく)とは、首里城の宮廷音楽として演奏されていた中国伝来の荘重で優雅な琉球王国の雅楽。久しく演奏されず幻の音楽となっていた「御座楽」を十年の歳月をかけて復元し、その響きを120年ぶりに蘇らせた画期的なアルバム。

発売元: 財団法人 日本伝統文化振興財団 販売元: ビクターエンタテインメント(株) 財団法人 日本伝統文化振興財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-26-8 神宮前グリーンビル102 TEL.03-5414-5591/FAX.03-5414-0700 <http://www.japo-net.or.jp> JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION